

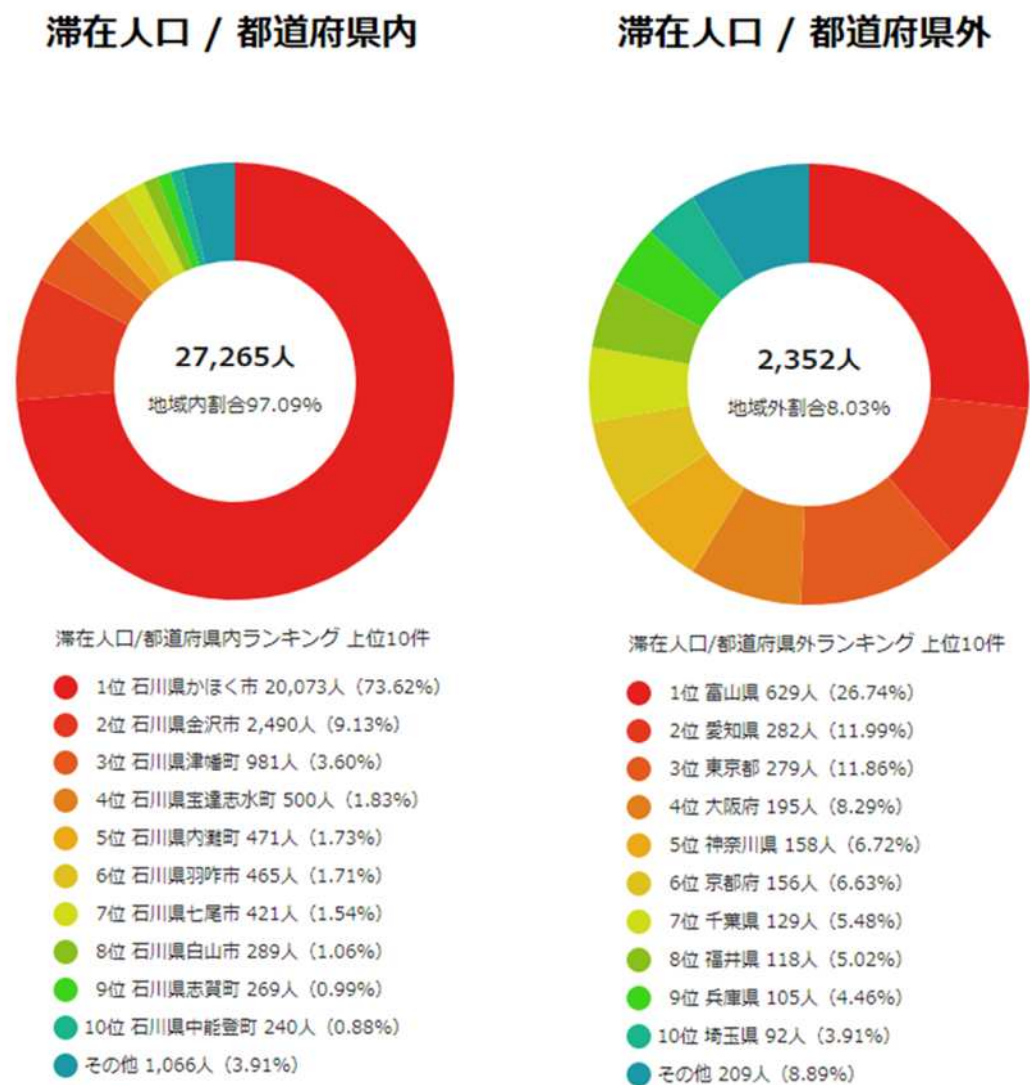
～金沢市など近隣地域からの人口流入は減少していない～

かほく市商工会では、令和 3 年 3 月に中小企業庁に認定された経営発達支援計画に基づき、「地域内の経済動向に関する情報」として、国が提供する地域経済分析システム「RESAS」から抽出した地域経済情報を、管内小規模事業者の皆様に周知しております。

今回、令和 3 年の地域経済動向として、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う当市への人流変化（滞在人口の構造変化）を以下の通りまとめました。

○かほく市の滞在人口の構造変化

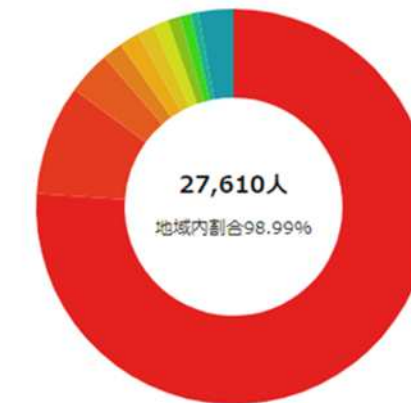
①新型コロナウイルス感染症感染拡大直前の滞在人口（2020 年 1 月・休日 14 時）



- コロナ以前の休日日中の当市の滞在人口は約 2.9 万人であり、うち 1 割程度は県外からの流入人口である。特に富山県からの流入が主であり、次いで愛知県、東京都、大阪府と続く。
- 富山県からの人口流入は、イオンモールかほく等の商業施設を利用する個人客と考えられ、また、大都市圏からの人口流入は、株式会社 PFU や、その他の域外を本社とする企業に勤務するビジネス客と考えられる。

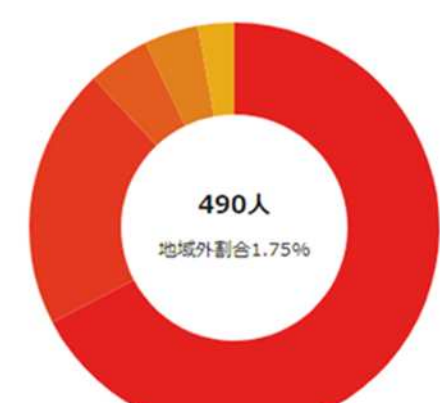
滞在人口 / 都道府県内

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- | | | |
|-----|----------|------------------|
| 1位 | 石川県かほく市 | 20,992人 (76.03%) |
| 2位 | 石川県金沢市 | 2,501人 (9.06%) |
| 3位 | 石川県津幡町 | 983人 (3.56%) |
| 4位 | 石川県宝達志水町 | 459人 (1.66%) |
| 5位 | 石川県内灘町 | 459人 (1.66%) |
| 6位 | 石川県羽咋市 | 387人 (1.40%) |
| 7位 | 石川県七尾市 | 333人 (1.21%) |
| 8位 | 石川県白山市 | 287人 (1.04%) |
| 9位 | 石川県志賀町 | 244人 (0.88%) |
| 10位 | 石川県中能登町 | 177人 (0.64%) |
| その他 | | 788人 (2.85%) |



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- | | | |
|----|-----|---------------|
| 1位 | 富山県 | 330人 (67.35%) |
| 2位 | 福井県 | 101人 (20.61%) |
| 3位 | 岐阜県 | 24人 (4.90%) |
| 4位 | 東京都 | 21人 (4.29%) |
| 5位 | 愛知県 | 14人 (2.86%) |

- コロナ渦の 2021 年 6 月（本報告日現在最新データ）における休日日中の当市の滞在人口は約 2.8 万人である。
- 大都市圏からの滞在は急減している。要因は、テレワークによる出張需要の急減や在宅勤務の普及と考えられる。
- 大都市圏からの滞在が大幅に減った一方で、県内他市町からの流入は減少してはならず、例えば金沢市からの流入はコロナ前が 2,490 人に対し、コロナ渦では 2,501 人と微増である。
- なお、富山県からの流入は半分程度となった一方、福井県からの流入は微減である。

③上記情報から得られる示唆

- 域外からのビジネス需要に関しては大幅な縮小が推測される一方、特に金沢市や津幡町、内灘町等の近隣市町からの個人消費需要の縮小は限定的なものと推測される。
- コロナ渦における対個人向け（BtoC）事業の業績の良否は、コロナ以前から、地域内や近隣地域からのリピーターを獲得できていたか、という、事業経営そのものの良否に依存しているものと考えられる。
- 管内小規模事業者の今後の事業展開に関して、感染動向や域外からの人口流入、政府からの支援のような、自社でコントロール不能な要因に期待するのではなく、地元で着実にリピーターを確保するための地道で本質的な活動に注力することが重要である。